

事務事業名	病院経営企画事務	所属部門	公立芽室病院 経営企画係
町長公約	公立芽室病院の医療体制充実と経営安定化		
簡易シートを選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない		

〔事業の概要・現状・課題〕

病院の経営理念を達成に向けた事業の推進。  
 今後も継続して患者が安心して医療を受けることができる体制を維持するため、  
 医療職(医師、看護職、診療技術職)の経営に対する意識について、更なる醸成が必要。

〔2023年度及び2024年度以降の方向性・課題の解決方法〕

新型コロナウイルス感染症に関連する補助金を活用することで、2022年度は目標管理制度で定めた数値目標を未達成ながらも黒字決算となった。2023年度は新型コロナウイルス感染症の各種法令等の取り扱いが大きく変化し、昨年度まで収支に大きく影響があった新型コロナウイルス感染症に関連する各種補助金が縮小することとなることから、アフターコロナに向けた病床運営について検討を行う。また医療職(医師、看護職、診療技術職)の理解を得るため、昨年度から導入作業を開始した自律経営プロジェクトを通じて、病院全体での経営参画意識向上を図る。  
 さらに経営意識醸成に係る取組みで、前年度から開始した「できることから始めようプロジェクト」の事務局運営を行い、希望する職員が誰でも参加できる「全職員での経営改善」を目指したプロジェクトを推進していく。

		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円					
		地方債	円					
		その他(使用料等)	円					
		一般財源	円	0	0	0	0	0
	事業費計(A)	円						
人件費	正職員従事人数	人					3	3
	人工数(業務量)	人工					0.7111	0.6880
	人件費計(B)	円	0	0	0	0	5,539,474	5,346,868
トータルコスト(A+B)		円	0	0	0	0	5,539,474	5,346,868

事務事業名	病院広報広聴事務	所属部門	公立芽室病院 経営企画係
町長公約	公立芽室病院の医療体制充実と経営安定化		

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 利用者及び関連施設等への広報広聴活動
2. 対象(何を対象にしているか) 町民・関係機関
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 病院の診療に関連する情報提供及び病院職員の各職域における専門性を生かした町民・関係機関向け講座の実施等の取り組みを知って頂く場を設けることで、病院を身近に感じることができるようにする。
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) 病院利用者が安心して受診することができる。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定  
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)		単位
①	町民・関係機関向け講座開催回数	回
②		
③		

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位
①	町民	人
②	関係機関	件
③		

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位
①	外来患者数	人
②		
③		

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位
①	外来患者数	人
②		
③		

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	0	0	0	0	255,354	391,688
	事業費計(A)	円					255,354	391,688
人件費	正職員従事人数	人					3	3
	人工数(業務量)	人工					0.1463	0.0928
	人件費計(B)	円	0	0	0	0	1,139,323	721,205
	トータルコスト(A+B)	円	0	0	0	0	1,394,677	1,112,893
活動指標	①	回					3	5
	②							
	③							
対象指標	①	人					47	131
	②	件					3	4
	③							
成果指標	①	人					55,001	62,238
	②							
	③							
上位成果指標	①	人					55,001	62,238
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 2022年度は新型コロナウイルス感染症の流行状況を見極めつつ可能な限り出前講座に取り組んできた。公式ホームページやFacebookなどによる情報発信に加え、当院利用者の年齢層を意識した媒体での情報発信を継続して行っていく。また、公式ホームページの運営について、保守管理を専門業者へ委託し、当院の新たな取組みなどを町民や利用者へアクセスしやすくわかりやすいホームページとなるよう取り組みを継続していく。	2. 今後の取組 (2023年度及び2024年度以降の方向性・課題の解決方法) 2023年度も前年度まで異なり、社会活動が活発になることが見込まれるため、町民及び関係機関向けの講座運営を拡大できるように推進していく。直接対面する形での事業実施に加え、公式ホームページでの積極的な情報発信やSNSを用いて健康推進情報を発信するなど、広報広聴事業を推進していく。
---	--

事務事業名	医療相談室運営事業	所属部門	公立芽室病院 経営企画係
町長公約	公立芽室病院の医療体制充実と経営安定化		
簡易シートを選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみ <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない		

〔事業の概要・現状・課題〕

相談援助種別では、「受診・受療」に続いて、「退院支援」が続く。早期介入を心がけることで、退院先(在宅復帰・施設受入)選定や調整が円滑に進んでいる反面、患者の地元志向も強く調整期間を要する場合もある。傷病を契機、または顕在化した生活課題に対して、資源不足に着目し、関係機関へのアプローチや新たな資源の構築、整理の場を持つためにソーシャルワーカー介入の必要性がある。

〔2023年度及び2024年度以降の方向性・課題の解決方法〕

- ・入退院支援の充実: 各種加算算定に向けての必要項目を満たすよう面談・カンファレンス・計画書等の交付を実施する。患者を中心とした支援を行えるよう、多職種で情報を共有し、同じ目標を持って適切な時期に支援を行うような体制を整備する。
- ・在宅療養支援(訪問診療・訪問看護)紹介数増
- ・急性期病院からの転院依頼数増
- ・地域包括ケア病床増床
- ・関係機関との対話を大切にし、当院で展開している『介護医療連携会』の活動の継続、発展。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	0	0	0	0	0	0
	事業費計(A)	円						
人件費	正職員従事人数	人	6	6	6	6	3	3
	人工数(業務量)	人工	1,2568	1,1802	1,1962	1,3902	1,4017	1,7303
	人件費計(B)	円	9,777,357	9,203,143	9,591,669	11,034,741	10,918,627	13,447,217
	トータルコスト(A+B)	円	9,777,357	9,203,143	9,591,669	11,034,741	10,918,627	13,447,217

事務事業名	病院システム管理事務	所属部門	公立芽室病院 経営企画係
町長公約	公立芽室病院の医療体制充実と経営安定化		

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 電子カルテシステム等の安定的な運用と維持管理
2. 対象(何を対象にしているか) 院内電子カルテシステムに関連する機器
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 診療時に支障なく日常業務で使用できる性能の維持
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) 安定的な業務の継続による安全な医療の提供

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定  
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 委託件数	件
②	
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 管理している機器の台数	台
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 受診者に影響を与えた障害件数	件
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 患者数(外来)	人
②	
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	0	0	0	0	26,351,325	24,135,430
	事業費計(A)	円					26,351,325	24,135,430
人件費	正職員従事人数	人					3	3
	人工数(業務量)	人工					0.0700	0.0936
	人件費計(B)	円	0	0	0	0	545,175	727,423
	トータルコスト(A+B)	円	0	0	0	0	26,896,500	24,862,853
活動指標	①	件					1	1
	②							
	③							
対象指標	①	台					279	286
	②							
	③							
成果指標	①	件					0	1
	②							
	③							
上位成果指標	①	人					55,001	62,238
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 平成14年に電子カルテを導入し、関連するシステム及び関連する機器の維持管理を行う。機器の経年劣化による故障やOSのサポート期限が切れていることから令和4年度に電子カルテシステムの更新を行った。新システムはこれまでと違うベンダーが開発したシステムであることから、使用する各医療職が業務に支障を来さないよう導入作業を行った。今年度も引き続き各医療職が新システムを有効に活用し、円滑に業務遂行ができるように管理業務に取り組む。	2. 今後の取組 (2023年度及び2024年度以降の方向性・課題の解決方法) 令和3年度から医療情報システムに特化したシステムエンジニア派遣を開始し、令和4年度の新システム導入への支援と導入後の保守・メンテナンスを行うようにしている。医療職が新システムを円滑に利用できるよう、日常業務の中で発生するシステムに関する機能面ならびに運用面での支援もシステムエンジニアが担い、システムを使用する医療職の利便性を向上させ、医療の質向上につなげ、患者サービス向上へと結びつけるように取り組む。
---	---